

1 枚方市の概況

(1) 地勢

- 淀川の左岸、生駒山地の北部にのびる枚方丘陵上にあり、山間部から船橋川、穂谷川、天野川がそれぞれ南東から北西に流下して淀川に注いでいます。
- 東部の標高100m以上の生駒山地延長部、それに続く50～100mの山麓地帯、中央部の標高25～50mの丘陵、標高25m以下の淀川低地帯をなす平野で構成されています。

(2) 気象

- 瀬戸内気候区に属し、日照も多く比較的温暖で穏やかな気候を示しています。1981（昭和56）年から2010（平成22）年までの30年間の平均気温は、1月の4.4℃が最低で、8月の27.8℃が最高となっています。また、降水量は、12月の43mmが最も少なく、6月の195.5mmが最も多くなっています。

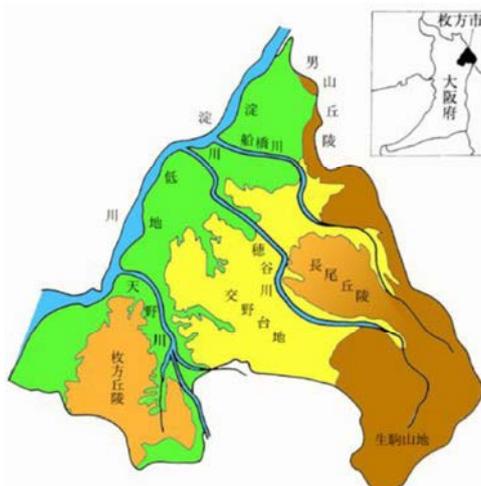


図 3-1 枚方市の地勢
出典：歴史文化遺産の保存と活用
のための整備構想

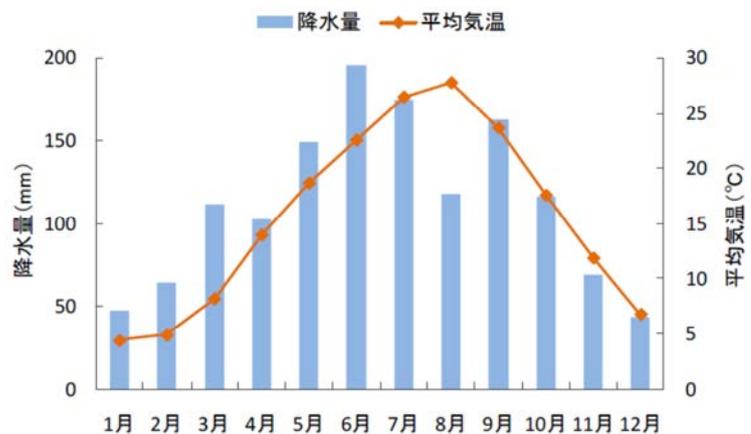


図 3-2 平均気温と降水量
(枚方観測所における1981～2010年の平均値)
出典：気象庁

(3) 人口

- 人口は約41万人、高齢化率は約23%
- これまで人口は微増してきましたが、今後、人口減少とさらなる高齢化が進み、約10年後の平成38年には、人口が約38.7万人、高齢化率が29%に達すると推計されています。



図 3-3 枚方市の人口推移(実数と推計)

出典:枚方市 人口推計調査報告書(平成 26(2014)年1月)

(4)土地利用

○都市計画区域内の土地利用の構成比は、都市的土地利用が68.7%、自然的土地利用が31.3%となっています。

○市域全体でみると、住宅地などの一般市街地の割合が38.8%で最も高く、次いで田・休耕地の10.5%、山林の8.7%、工場地の7.1%の順となっています。

表 3-1 土地利用別面積

		面積 (ha)			構成比 (%)	
		市街化区域	市街化調整区域	総計		
都市的 土地 利用	宅地	一般市街地	2,483.1	47.5	2,530.6	38.8
		集落地	272.7	39.6	312.3	4.8
		商業業務地	215.3	38.1	253.4	3.9
		工場地	410.2	54.6	464.8	7.1
		小計	3,381.3	179.8	3,561.1	54.6
	公共施設	113.8	51.7	165.5	2.5	
	官公署	18.9	2.2	21.1	0.3	
	学校	235.1	64.3	299.4	4.6	
	道路・鉄軌道敷	97.3	14.8	112.1	1.7	
	公園・緑地	44.8	124.3	169.1	2.6	
	運動場・遊園地	39.5	23.5	63.0	1.0	
	社寺敷地・公開庭園	23.6	3.7	27.3	0.4	
	墓地	12.2	9.1	21.3	0.3	
	その他の空地	18.8	20.0	38.8	0.6	
小計	3,985.3	493.4	4,478.7	68.7		
自然的 土地 利用	農地	田・休耕地	84.5	601.5	686.0	10.5
		畑	5.1	13.8	18.9	0.3
		小計	89.6	615.3	704.9	10.8
	山林	56.8	507.8	564.6	8.7	
	水面	33.9	132.2	166.1	2.5	
	低湿地・荒蕪地	50.9	248.0	298.9	4.6	
	原野・牧野	0.5	303.1	303.6	4.7	
小計	231.7	1,806.4	2,038.1	31.3		
合計		4,217.0	2,299.8	6,516.8	100.0	

(5) 施設立地(道路・交通)

① 都市計画道路の整備状況

- 計画延長約 106km のうち、約 65km (約 61%) が整備済みである。
(平成 27 年度末時点)
- 道路種別ごとに見ると、特殊街路(歩行者専用道路等)は 100% 整備が済んでいるが、区画街路は約 3 割、幹線街路が 6 割強とやや整備が遅れている。

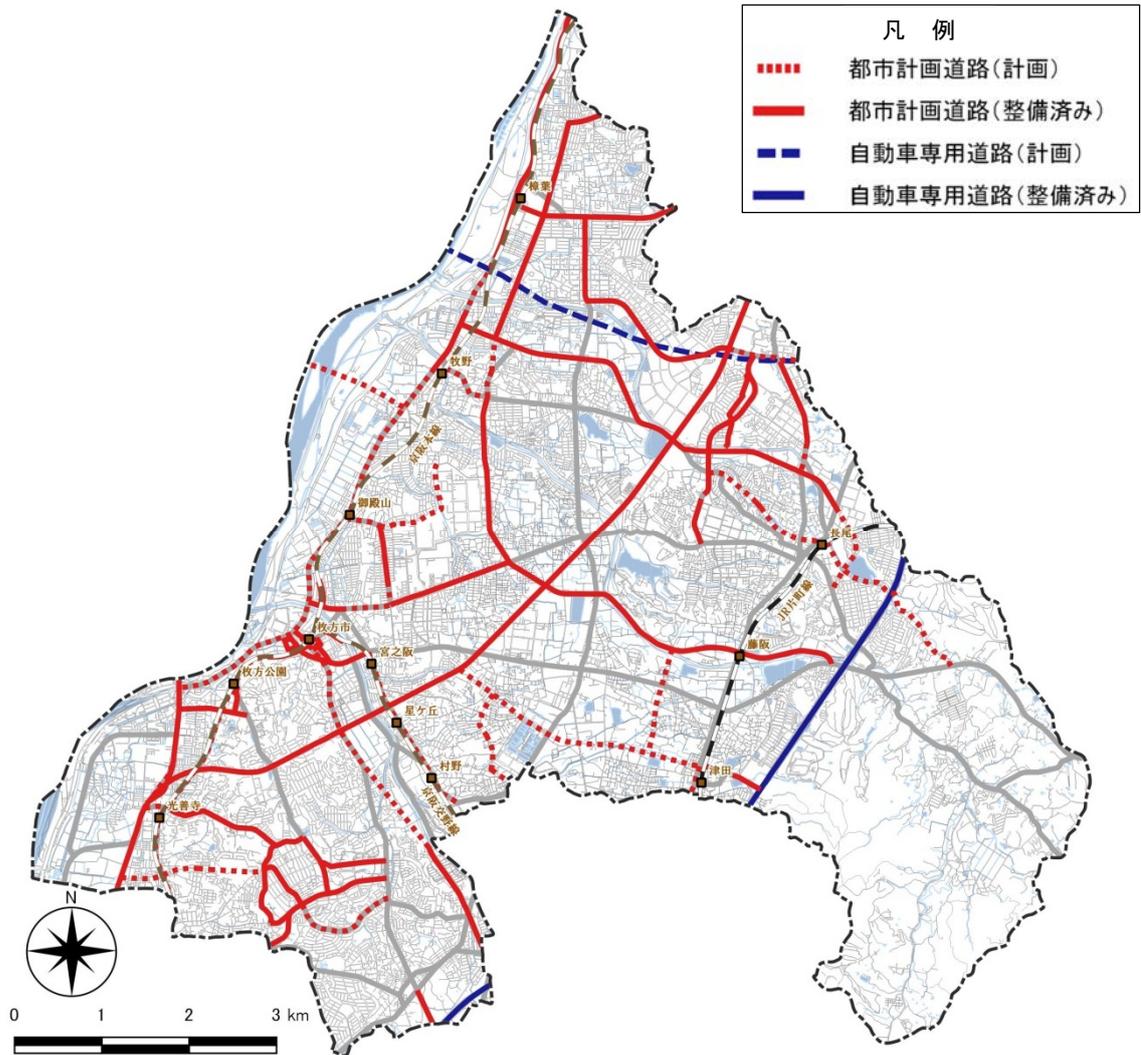


図 3-4 都市計画道路

出典: 枚方市ホームページ 枚方市都市計画道路網概略図(※整備状況については平成 27 年 3 月現在)

表 3-2 都市計画道路の整備状況

種別	路線数	計画延長 (km)	整備済延長 (km)	進捗率 (%)
自動車専用道路	2	7.70	3.41	44.29%
幹線街路	44	91.10	58.66	64.39%
区画街路	14	5.85	1.89	32.31%
特殊街路	2	1.21	1.21	100.00%
合計	62	105.86	65.17	61.56%

	計画延長	整備済延長	進捗率
8m未満	約4.89km	約0.93km	19.02%
8～12m	約6.81km	約6.66km	97.80%
12～16m	約17.37km	約8.11km	46.69%
16～22m	約45.58km	約36.08km	79.16%
22～30m	約19.66km	約6.57km	33.42%
30～40m	約3.41km	約3.41km	100.00%
40m以上	約8.14km	約3.41km	41.89%
合計	約105.86km	約65.17km	61.56%

出典: 枚方市の都市計画 概要 2016(数値は平成 28 年 3 月 31 日現在)

③ 自転車通行空間の整備状況

- 自転車通行空間の整備は、府道では杉田口禁野線の一部（車道混在型）と歩道部に自転車が通行すべき位置を明示した牧野長尾線（自転車歩行者道）のみであり、府道京都守口線で整備が進められている。
- 淀川、穂谷川、第二京阪道路を結ぶ形で、大阪府の大規模自転車道（北河内サイクルライン）が整備されている。（一部未整備区間あり）



写真 3-1 府道京都守口線

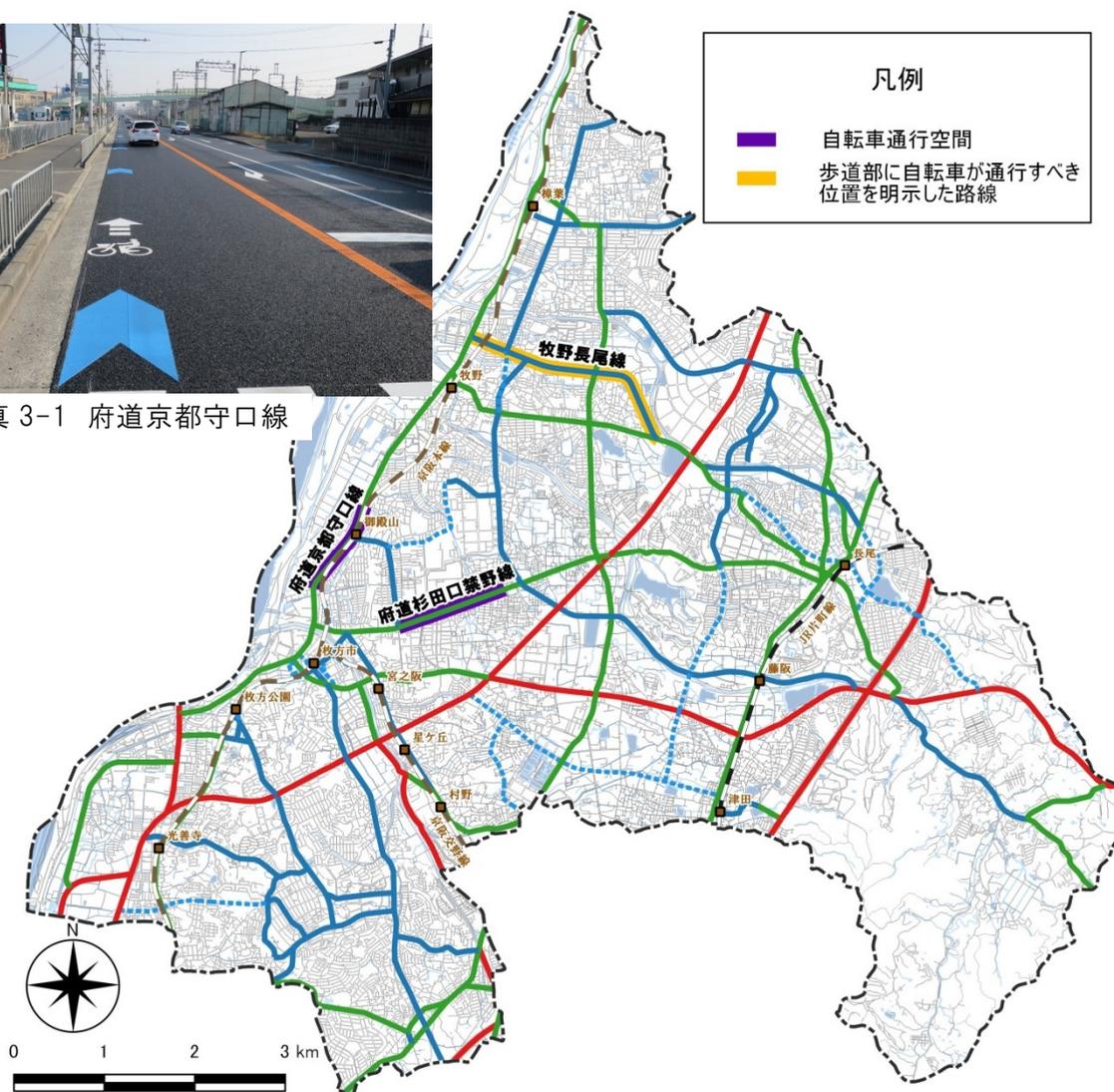


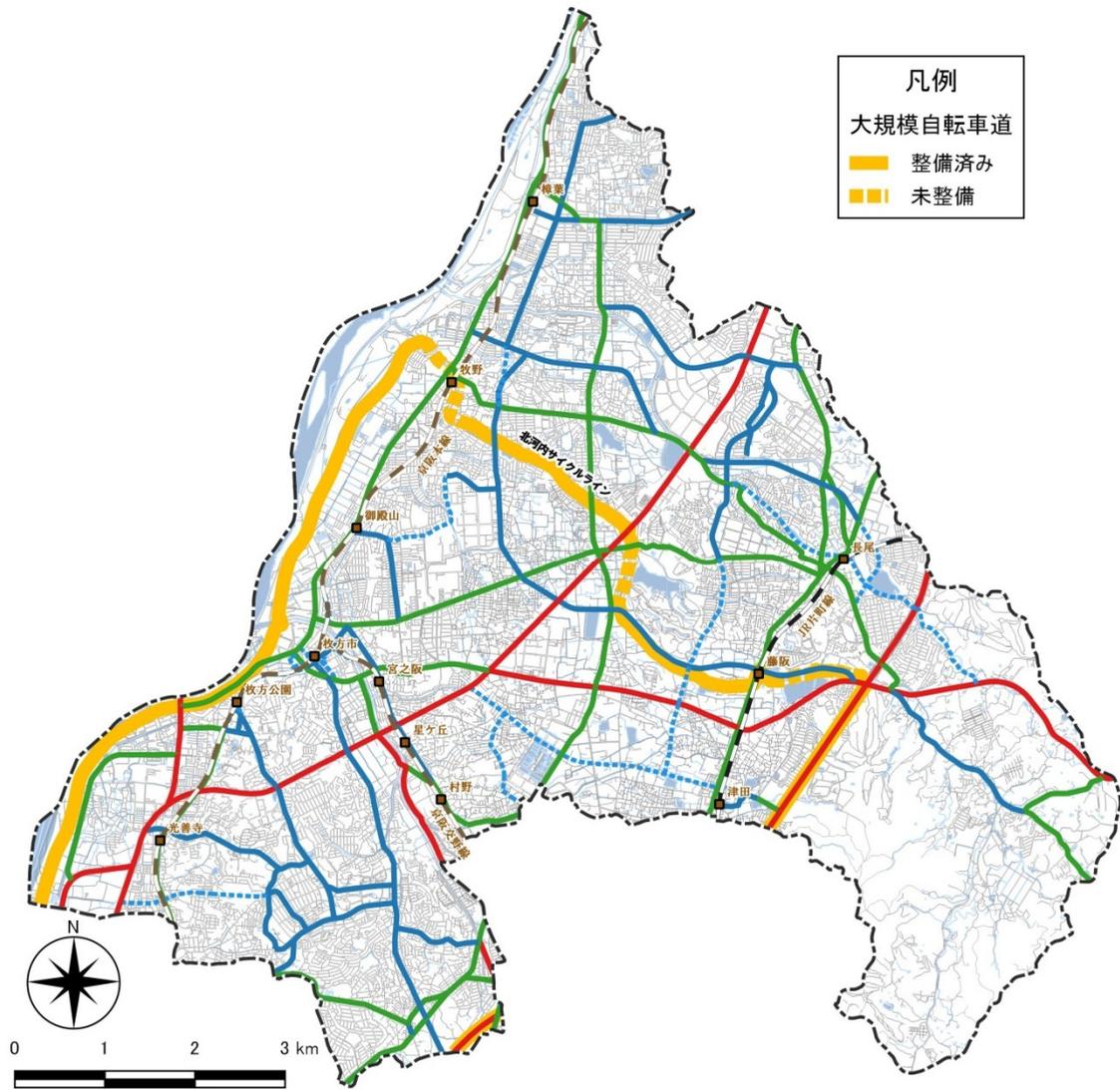
図 3-6 自転車通行環境整備状況



写真 3-2 府道杉田口禁野線



写真 3-3 牧野長尾線



(北河内サイクルライン：一般府道北河内自転車道線)

図 3-7 大規模自転車道の位置



写真 3-4 淀川堤防上



写真 3-5 穂谷川堤防上

③公共交通の状況

<鉄道>

- 枚方市では、大阪と京都を結ぶ京阪電鉄本線・JR片町線、枚方市駅と私市駅を結ぶ京阪電鉄交野線が運行している。
- 市内には12駅が立地。京阪枚方市駅、樟葉駅は特急が停車することから、大阪・京都方面へのアクセス利便性が高い。
- 1日の乗降客数の上位3駅は、枚方市駅（9.1万人）、樟葉駅（6.1万人）、長尾駅（2.4万人）の順となっている。
（「第45回枚方市統計書（平成27年版）」調査時期：平成26年）

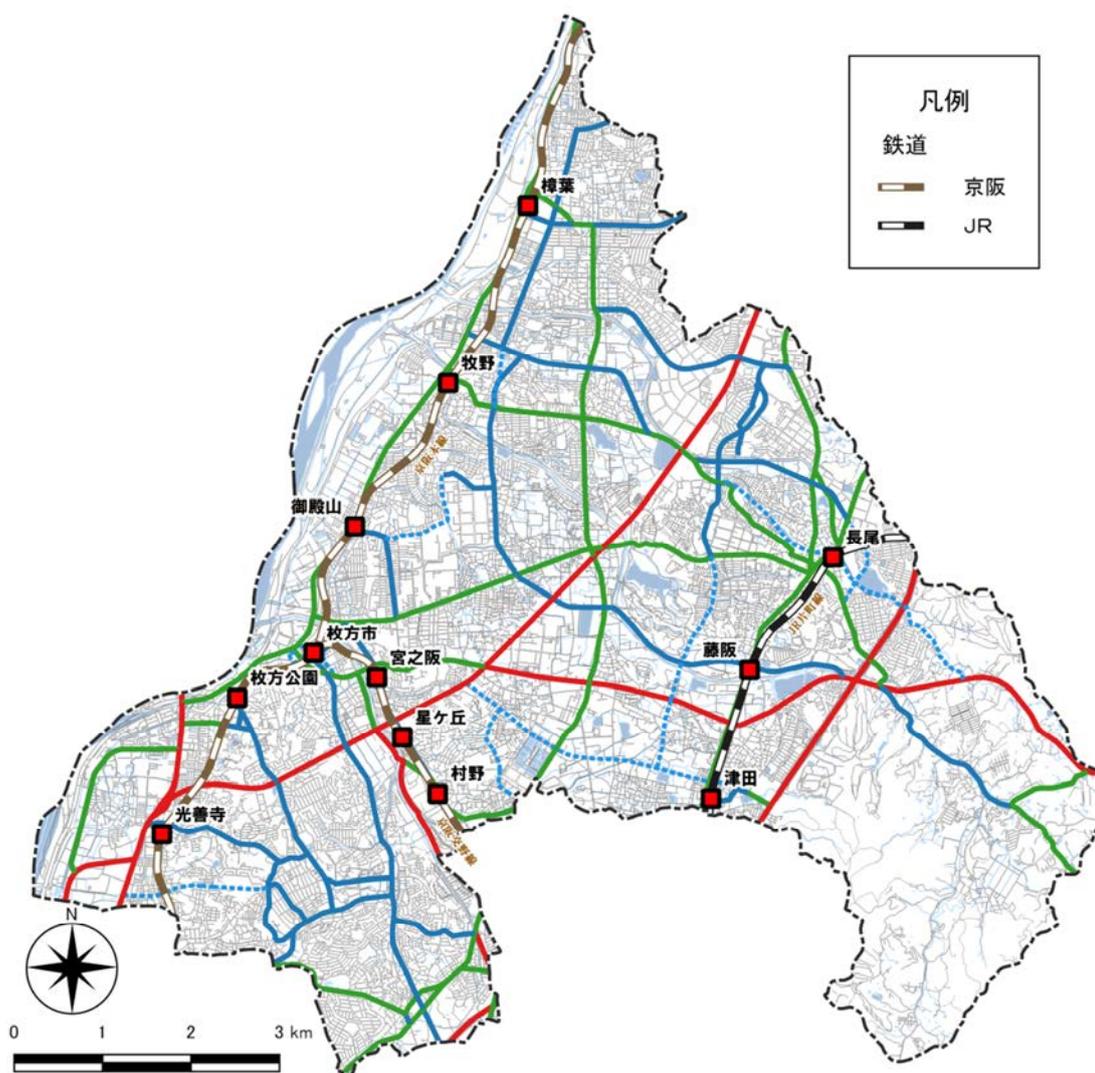


図 3-8 鉄道路線網

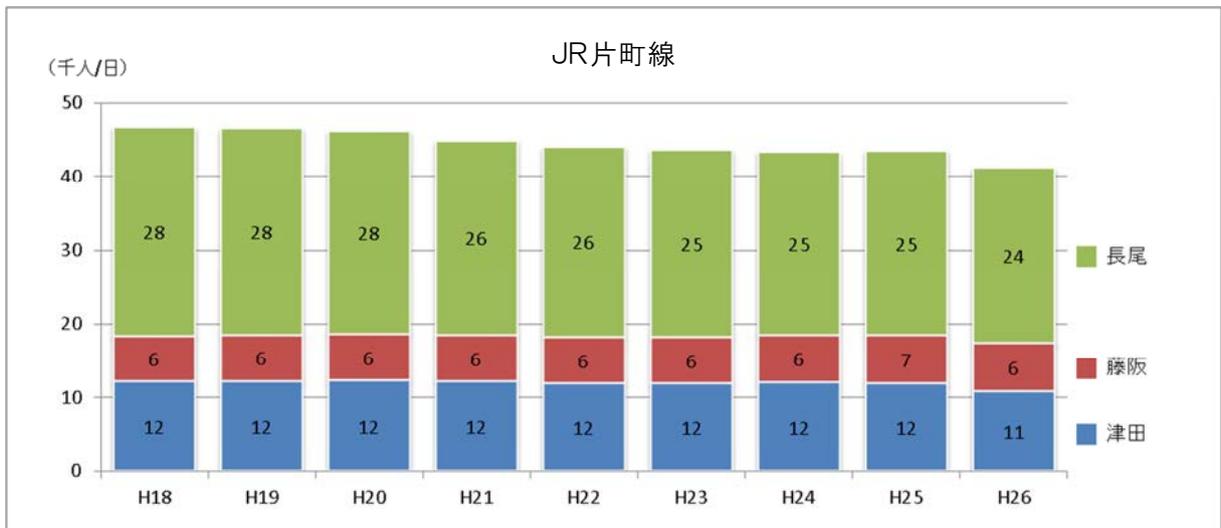
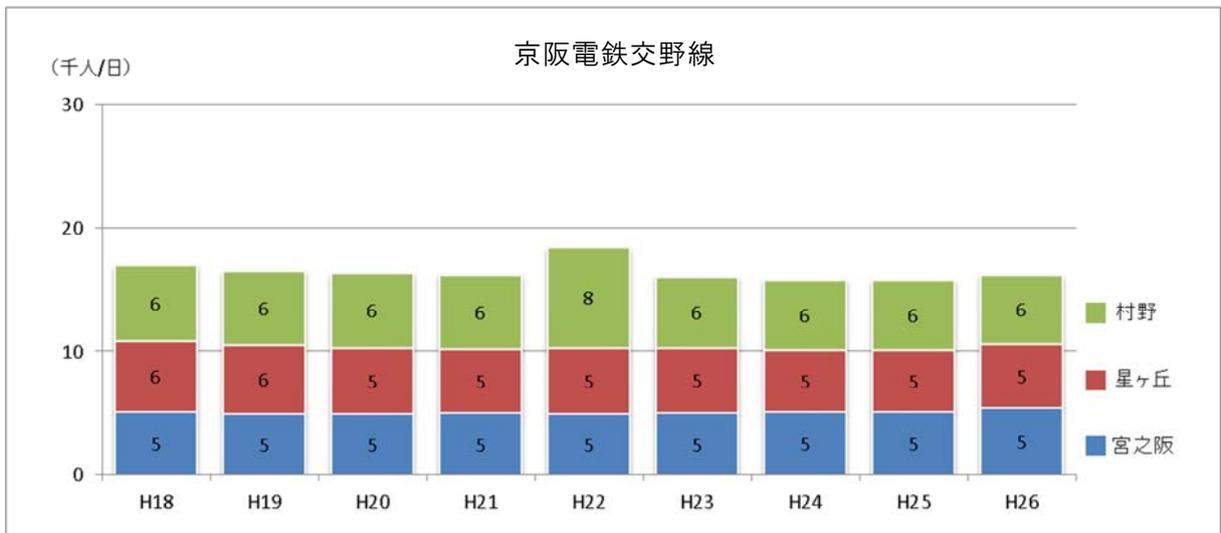
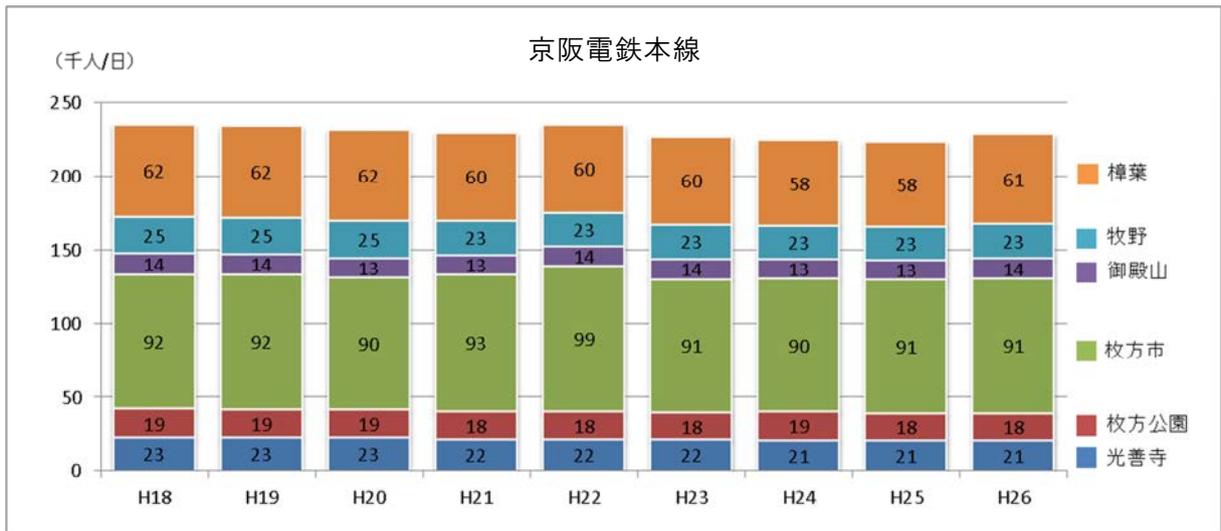


図 3-9 路線別駅別乗降客数の推移

<バス>

○枚方市駅や樟葉駅などのターミナルを基点としたバス路線網が形成されており、京阪駅とJR駅を結ぶ東西路線で多く運行している。

○京阪駅とJR駅を結ぶ道路において運行本数が多く、特に枚方市駅や樟葉駅を中心とした地域では、1日360本以上（約10本/時・片道換算）の高頻度運行をしている路線もある。

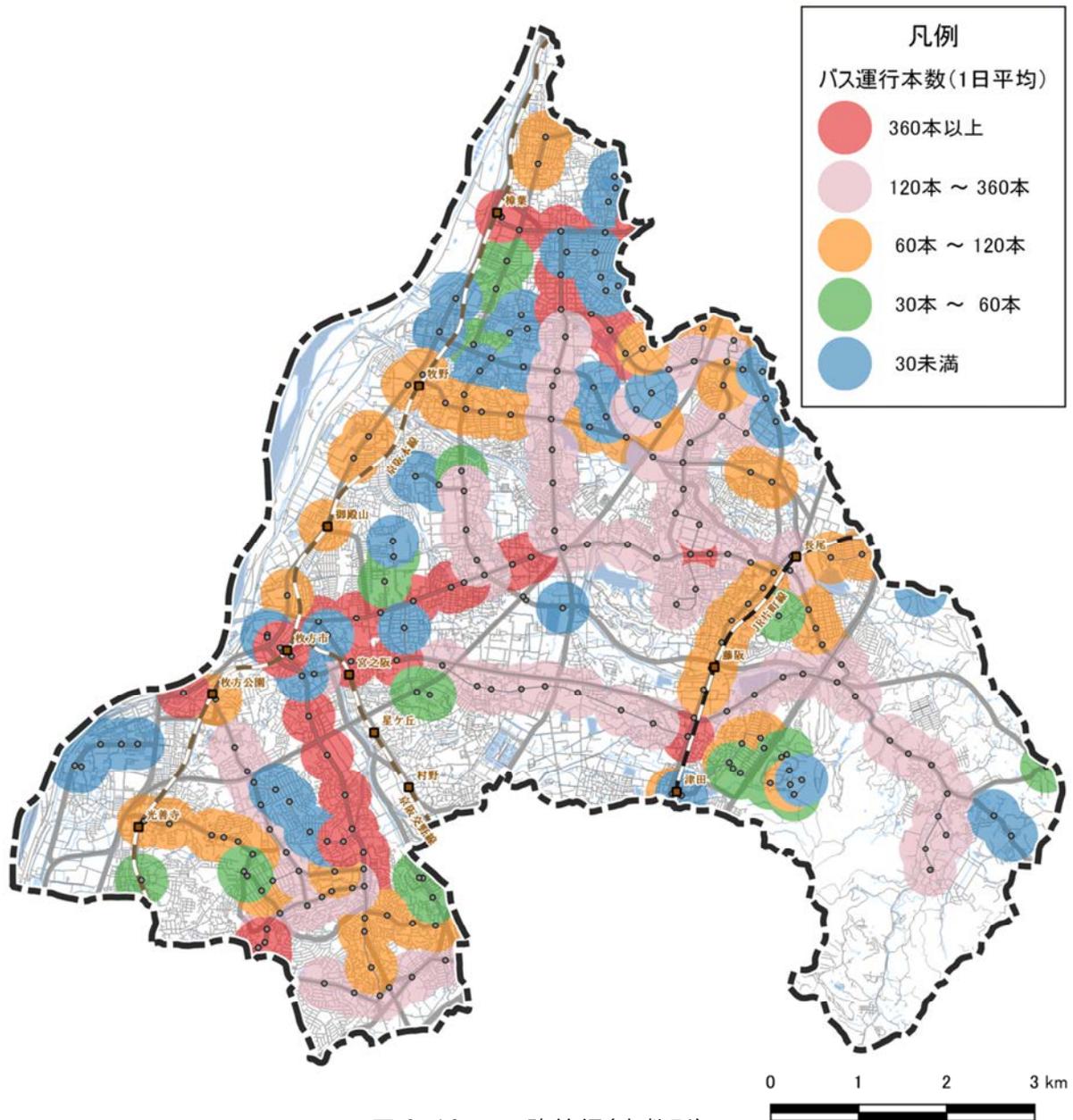


図 3-10 バス路線網(本数別)

出典:国土数値バス停データ

ただし、リムジンバス・高速バスのみが停車するバス停留所を削除。新設バス停を追加。
運行本数は京阪バスホームページ時刻表より平日の上下計を反映。

(6) 施設立地(各種施設等)

① 公共施設

○ 主な公共施設は枚方市駅周辺に集中しており、図書館や集会施設などの地域施設は市内に分散して立地している。

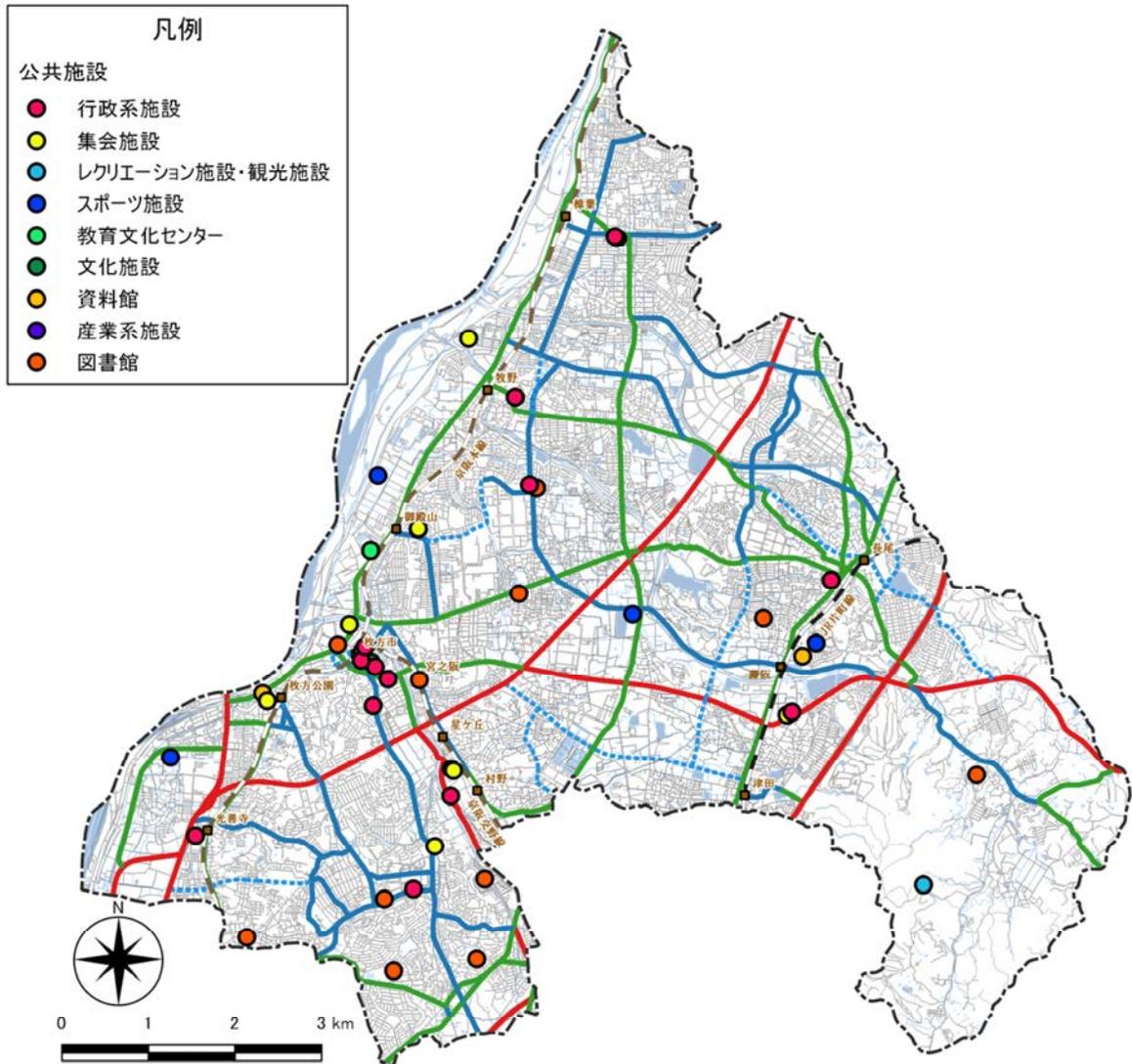


図 3-11 公共施設の分布状況

出典：枚方市公共施設白書(平成 27 年 3 月)

②公園・緑地

○広域公園の山田池公園（府営）が市の概ね中心に立地しており、淀川河川公園（国営）が市の西端に立地している。

○上記以外に大規模な公園は少なく、総合公園の王仁公園がJR片町線沿いに立地している。街区公園以外の公園は市の中央より西側に立地している。

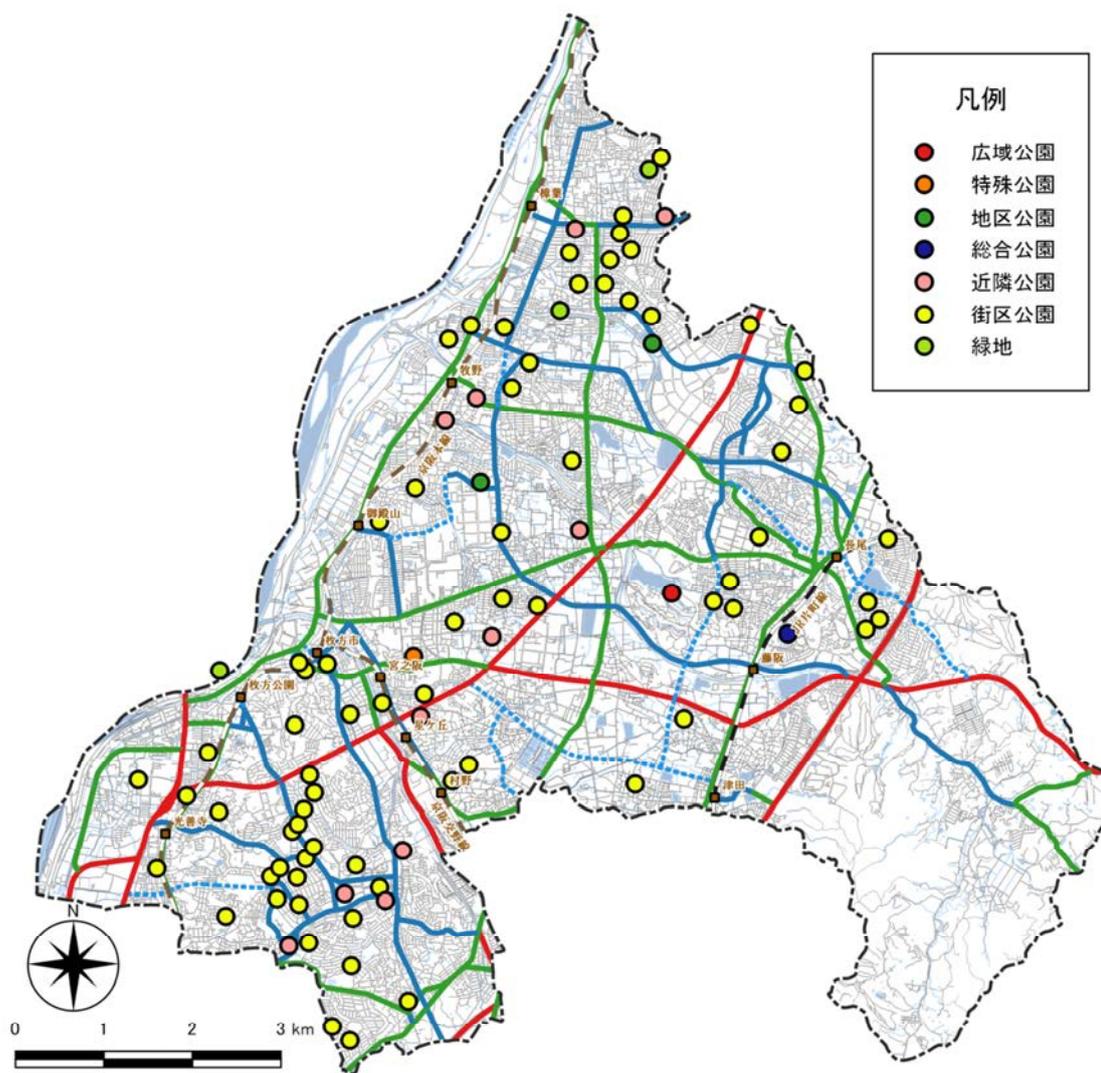


図 3-12 公園・緑地の分布状況

出典：枚方市ホームページ 都市計画（公園）

③商業施設

○広域からの集客を図るデパート・百貨店は枚方市駅や樟葉駅に立地しており、ショッピングモールは前述の両駅に加えて、国道1号沿いに立地している。家電量販店も国道1号沿いに立地している。

○商圈が狭く、日常生活で最も利用する食品スーパーは、市内に広く分布している。

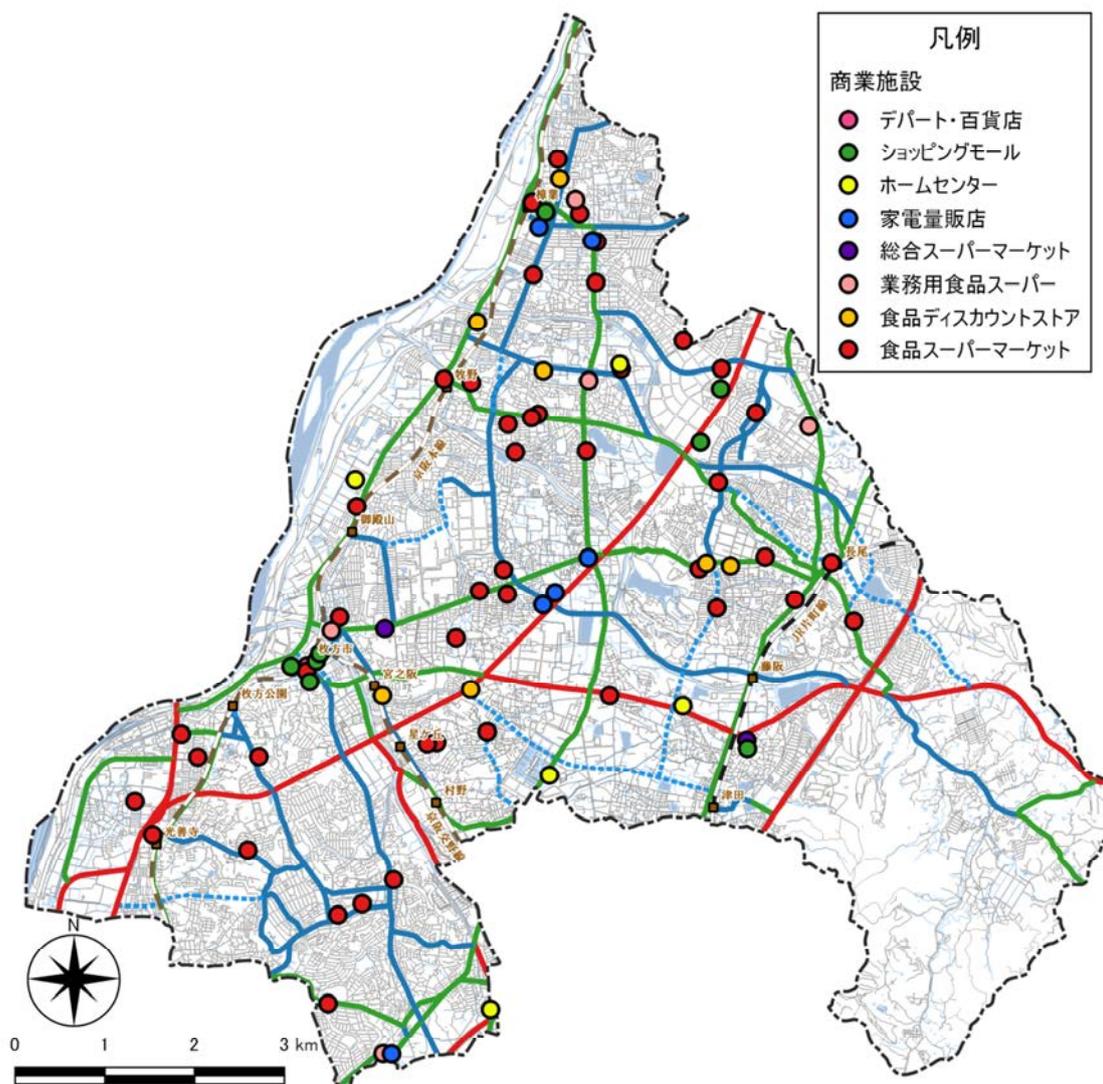


図 3-13 商業施設の分布状況

④高校・大学・専門学校

- 高校は10校が立地しており、学生数は約1万2千人となっている。市南西部に多く立地している。
- 大学に関しては、市内に8つのキャンパス（6つの大学）が立地しており、学生数は約1万8千人と大阪府内で4番目に多い。市域に広く分散して立地している。
- 専門学校は5校が立地しており、学生数は約1,900人となっている。市域に広く分散して立地している。
- 通学に自転車の利用が考えられる各種学校が市内に多く立地していることから、鉄道駅と各学校を安全に結ぶ自転車ネットワークが必要である。

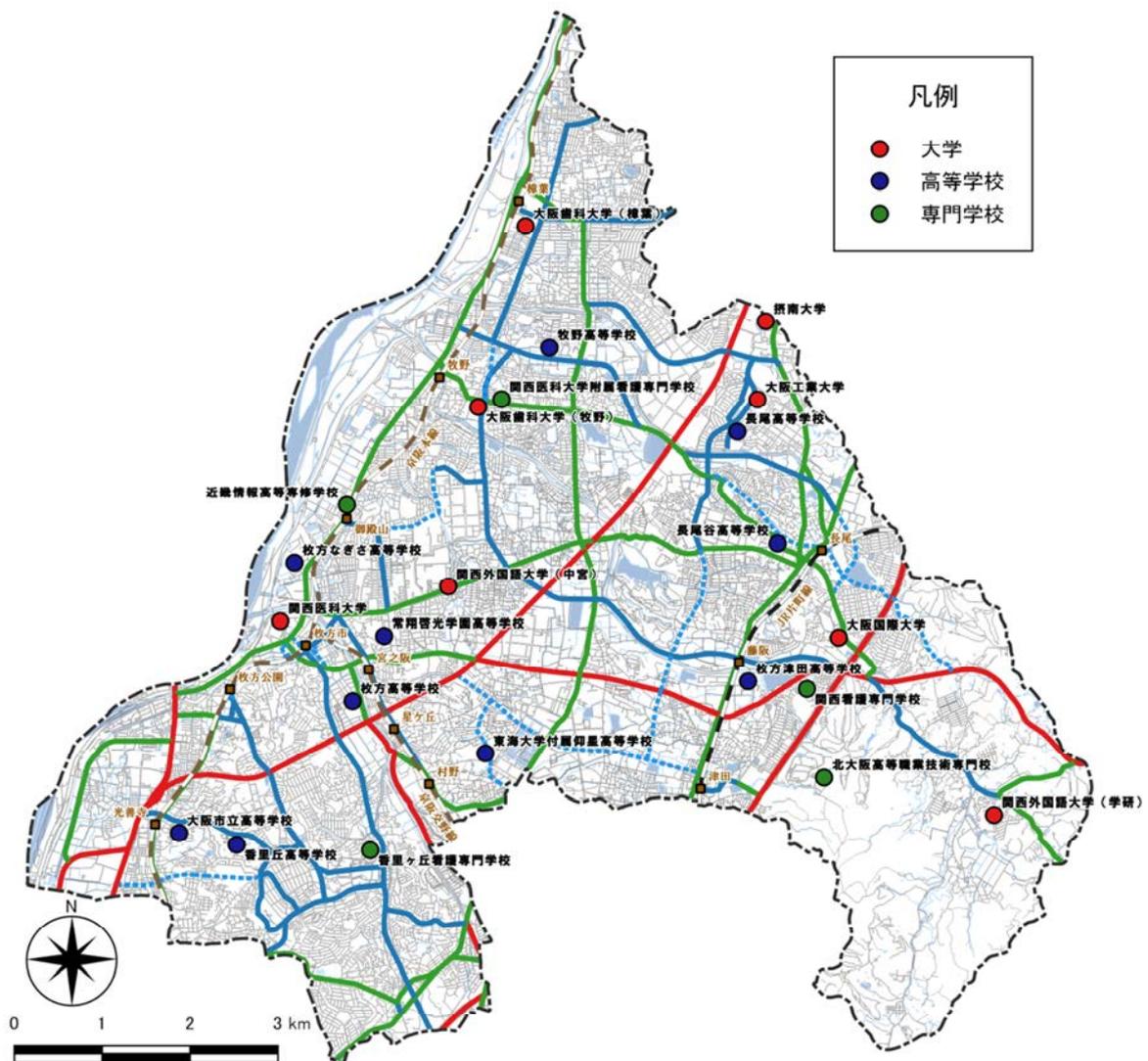


図 3-14 高校・大学・専門学校の分布状況

出典：第 45 回枚方市統計書(平成 27 年版)

⑤ 保育所・幼稚園

- 保育所・幼稚園は市内に広く分布しているが、比較的市内西部の京阪沿線に多い。
- 枚方駅のすぐ東側のエリアにやや密集した立地が見られる。

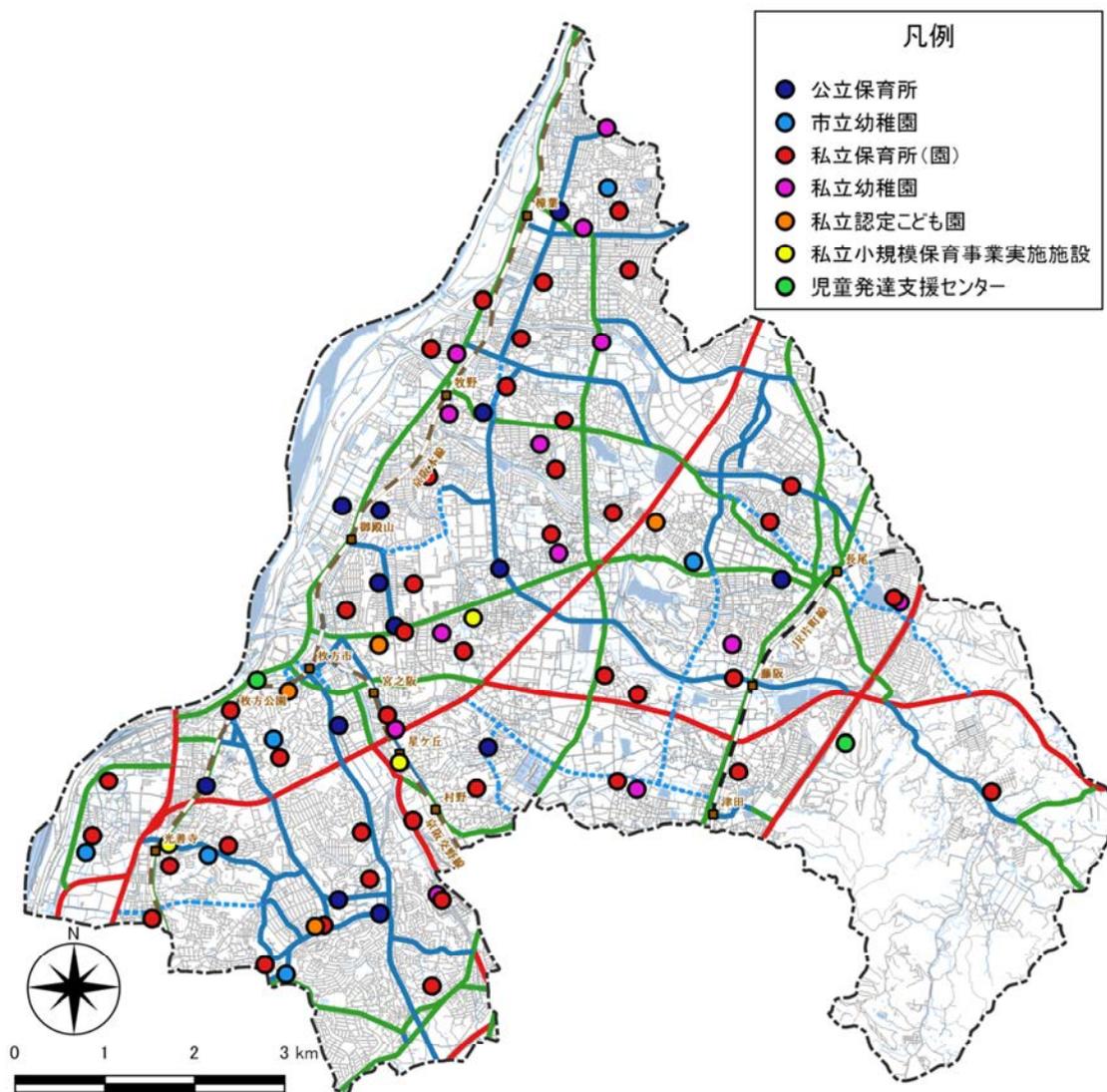


図 3-15 保育所及び幼稚園の分布状況

出典: 第 45 回枚方市統計書(平成 27 年版) / 枚方市子育てわくわくサイト

⑥医療施設

- 二次救急医療機関は市内に比較的分散して立地してはいるが、枚方市駅周辺にやや集中した立地が見られる。
- 個人病院等の小さな病院は各鉄道駅付近に集中して立地している。

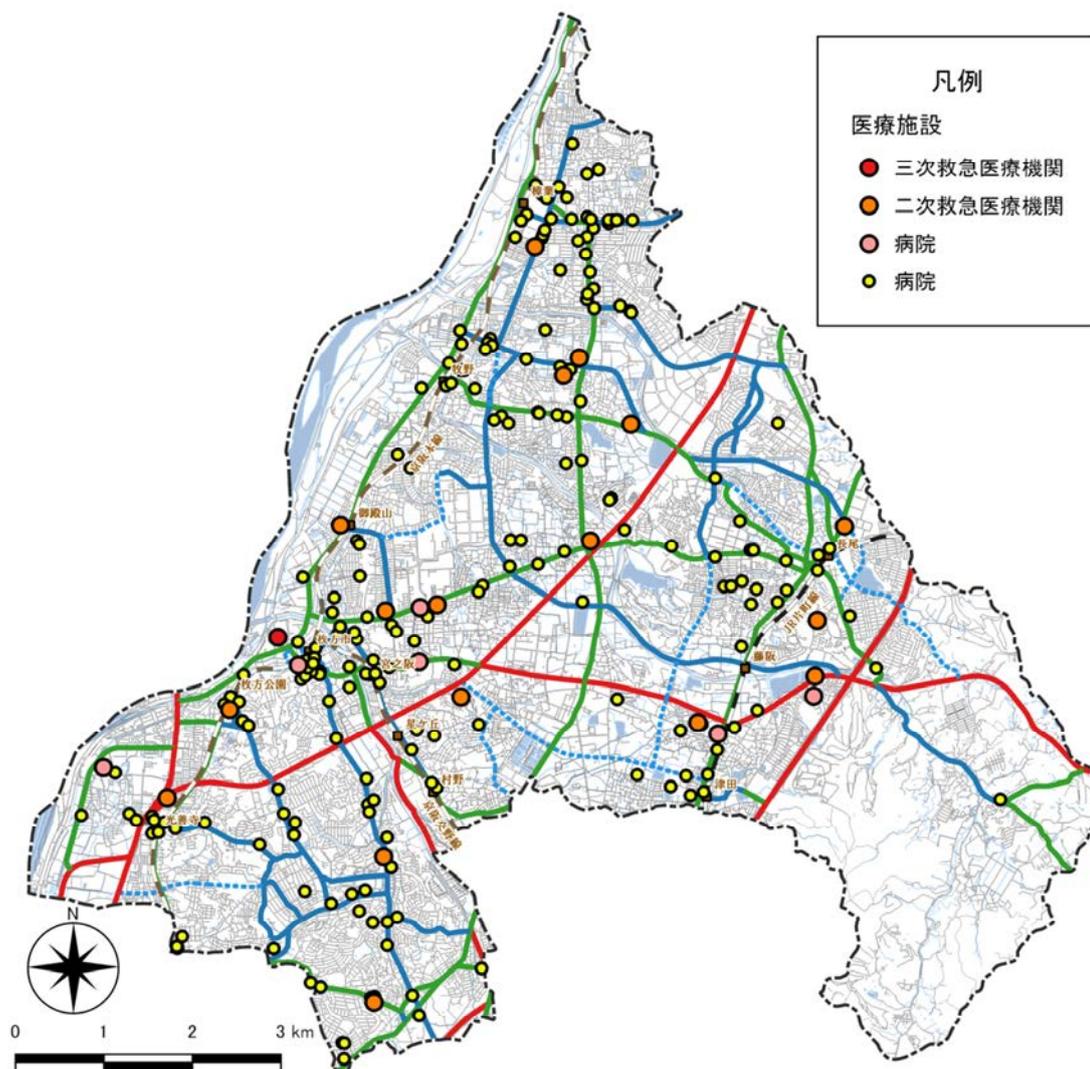


図 3-16 医療施設の分布状況

出典: 枚方市ホームページ / 一般社団法人枚方市医師会ホームページ

2 枚方市における自転車の利用実態

(1) 自転車の利用状況

① 自転車の利用状況

○自転車の代表交通手段としての分担率は、17.1%で、H12に比べて横ばいであり、大阪府平均の22.5%を下回っている。府内43市町村中26位となっているが、国勢調査による通勤・通学における自転車利用の分担率をみると、全国的にみると上位（人口10万人以上の268都市中で63位）に位置しており、比較的自転車利用が多い都市と言える。

○鉄道利用における端末交通手段としての自転車分担率を見ると、京阪の樟葉駅、牧野駅が20%を超えて高く、次いでJR片町線の3駅が15%前後となっているが、各駅の自転車駐車場の利用状況をみると、京阪枚方市駅、樟葉駅が突出して多く、次いで、JR長尾駅となっている。

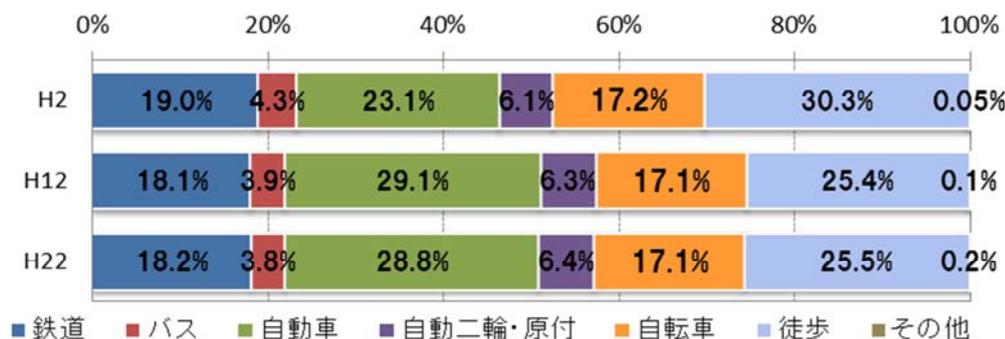


図 3-18 パーソントリップ調査による代表交通手段分担率

表 3-3 府内市町村の代表交通手段における自転車分担率の比較

順位	市町村名	自転車分担率	順位	市町村名	自転車分担率	順位	市町村名	自転車分担率
1	松原市	33.3%	16	高槻市	22.8%	31	富田林市	14.5%
2	守口市	32.6%	17	堺市	22.2%	32	和泉市	13.3%
3	門真市	32.5%	18	岸和田市	21.1%	33	大阪狭山市	13.0%
4	八尾市	31.4%	19	柏原市	20.2%	34	泉南市	12.8%
5	高石市	30.4%	20	島本町	20.1%	35	阪南市	12.4%
6	東大阪市	30.0%	21	豊中市	19.3%	36	岬町	9.8%
7	藤井寺市	29.4%	22	四条畷市	18.3%	37	熊取町	9.6%
8	摂津市	27.0%	23	羽曳野市	18.1%	38	河内長野市	7.7%
9	大東市	27.0%	24	吹田市	17.8%	39	河南町	6.5%
10	泉大津市	26.8%	25	交野市	17.2%	40	太子町	4.8%
11	茨木市	26.0%	26	枚方市	17.1%	41	能勢町	2.3%
12	寝屋川市	25.6%	27	泉佐野市	16.9%	42	豊能町	1.7%
13	忠岡町	25.0%	28	貝塚市	16.7%	43	千早赤阪村	0.3%
14	大阪市	23.4%	29	池田市	16.3%		大阪府 平均	22.5%
15	田尻町	23.1%	30	箕面市	15.4%			

出典：H22 パーソントリップ調査（代表交通手段、平日、全目的、発生集中）

表 3-4 全国の人口 10 万人以上の都市の通勤・通学における自転車分担率(H22 国勢調査)

順位	市町村名	都道府県	自転車 (代表交通 手段)	鉄道・電車 及び自転車 (端末交通 手段)	自転車 (代表交通 手段+端末 交通手段)	順位	市町村名	都道府県	自転車 (代表交通 手段)	鉄道・電車 及び自転車 (端末交通 手段)	自転車 (代表交通 手段+端末 交通手段)
			①	②	①+②				①	②	①+②
1	門真市	大阪府	34.2%	6.6%	40.9%	36	岸和田市	大阪府	18.4%	5.8%	24.2%
2	守口市	大阪府	32.4%	8.3%	40.7%	37	羽曳野市	大阪府	18.2%	5.7%	23.9%
3	東大阪市	大阪府	30.6%	5.7%	36.2%	38	浦安市	千葉県	13.7%	10.2%	23.9%
4	尼崎市	兵庫県	28.6%	7.4%	35.9%	39	吹田市	大阪府	17.2%	6.3%	23.5%
5	八尾市	大阪府	29.4%	6.5%	35.9%	40	ふじみ野市	埼玉県	15.1%	8.2%	23.4%
6	松原市	大阪府	28.1%	6.9%	35.0%	41	さいたま市	埼玉県	15.8%	7.4%	23.2%
7	大東市	大阪府	28.5%	6.4%	34.9%	42	加古川市	兵庫県	17.2%	5.9%	23.1%
8	大阪市	大阪府	27.8%	5.9%	33.6%	43	岡山市	岡山県	20.8%	2.1%	23.0%
9	伊丹市	兵庫県	26.9%	5.8%	32.7%	44	草津市	滋賀県	18.7%	4.3%	23.0%
10	寝屋川市	大阪府	23.6%	8.1%	31.7%	45	静岡市	静岡県	20.7%	1.9%	22.5%
11	戸田市	埼玉県	21.7%	8.8%	30.6%	46	西宮市	兵庫県	16.6%	5.7%	22.4%
12	茨木市	大阪府	21.2%	8.6%	29.8%	47	豊中市	大阪府	17.4%	4.9%	22.3%
13	草加市	埼玉県	20.8%	9.0%	29.8%	48	平塚市	神奈川県	18.4%	3.4%	21.7%
14	三鷹市	東京都	19.5%	9.9%	29.5%	49	高松市	香川県	19.7%	2.0%	21.7%
15	小平市	東京都	20.1%	9.3%	29.3%	50	国分寺市	東京都	14.6%	7.1%	21.7%
16	高槻市	大阪府	19.7%	9.1%	28.8%	51	川越市	埼玉県	13.8%	7.7%	21.6%
17	立川市	東京都	19.9%	8.4%	28.3%	52	調布市	東京都	14.6%	6.8%	21.4%
18	東久留米市	東京都	20.1%	7.6%	27.6%	53	春日部市	埼玉県	13.9%	7.4%	21.3%
19	東村山市	東京都	17.9%	9.2%	27.0%	54	市川市	千葉県	12.0%	9.2%	21.2%
20	上尾市	埼玉県	17.9%	9.0%	26.8%	55	朝霞市	埼玉県	12.9%	8.1%	21.0%
21	京都市	京都府	23.4%	3.2%	26.6%	56	相模原市	神奈川県	15.4%	5.6%	21.0%
22	府中市	東京都	19.2%	7.0%	26.2%	57	名古屋	愛知県	16.6%	4.3%	20.9%
23	茅ヶ崎市	神奈川県	18.1%	7.9%	26.1%	58	福岡市	福岡県	17.8%	2.8%	20.5%
24	新座市	埼玉県	17.9%	8.2%	26.1%	59	池田市	大阪府	15.9%	4.5%	20.4%
25	西東京市	東京都	17.6%	8.4%	26.0%	60	春日市	福岡県	14.7%	5.7%	20.4%
26	昭島市	東京都	18.8%	7.2%	26.0%	61	泉佐野市	大阪府	13.9%	6.1%	20.0%
27	松山市	愛媛県	24.6%	1.2%	25.8%	62	佐賀市	佐賀県	19.2%	0.7%	19.9%
28	川口市	埼玉県	18.0%	7.8%	25.8%	63	枚方市	大阪府	14.2%	5.5%	19.7%
29	小金井市	東京都	16.9%	8.5%	25.5%	64	習志野市	千葉県	12.3%	7.0%	19.3%
30	三郷市	埼玉県	16.7%	8.2%	24.9%	65	広島市	広島県	17.0%	2.2%	19.2%
31	高知市	高知県	24.1%	0.8%	24.9%	66	柏市	千葉県	10.9%	8.2%	19.2%
32	武蔵野市	東京都	15.5%	9.0%	24.5%	67	特別区部	東京都	14.2%	4.9%	19.1%
33	越谷市	埼玉県	15.8%	8.6%	24.4%	68	箕面市	大阪府	15.9%	3.1%	19.1%
34	堺市	大阪府	18.3%	6.0%	24.3%	69	姫路市	兵庫県	15.9%	3.2%	19.1%
35	徳島市	徳島県	23.8%	0.4%	24.2%	70	一宮市	愛知県	13.8%	5.2%	19.0%

※黄色ハッチは大阪府内の都市
出典:H22 国勢調査 268 都市中上位 70 都市を掲載

表 3-5 平成 27 年市営自転車駐車場 年間自転車駐車台数

京阪電鉄本線	樟葉駅	牧野駅	御殿山駅	枚方市駅	枚方公園駅	光善寺駅
一時利用	231,179	63,290	67,120	220,890	68,337	74,645
定期利用	20,271	9,958	5,638	17,974	7,519	7,624

京阪電鉄交野線	宮之阪駅	星ヶ丘駅	村野駅
一時利用	4,243	2,753	5,906
定期利用	1,011	504	1,677

J R 片町線	長尾駅	藤阪駅	津田駅
一時利用	82,549	38,028	41,843
定期利用	11,212	6,643	7,674

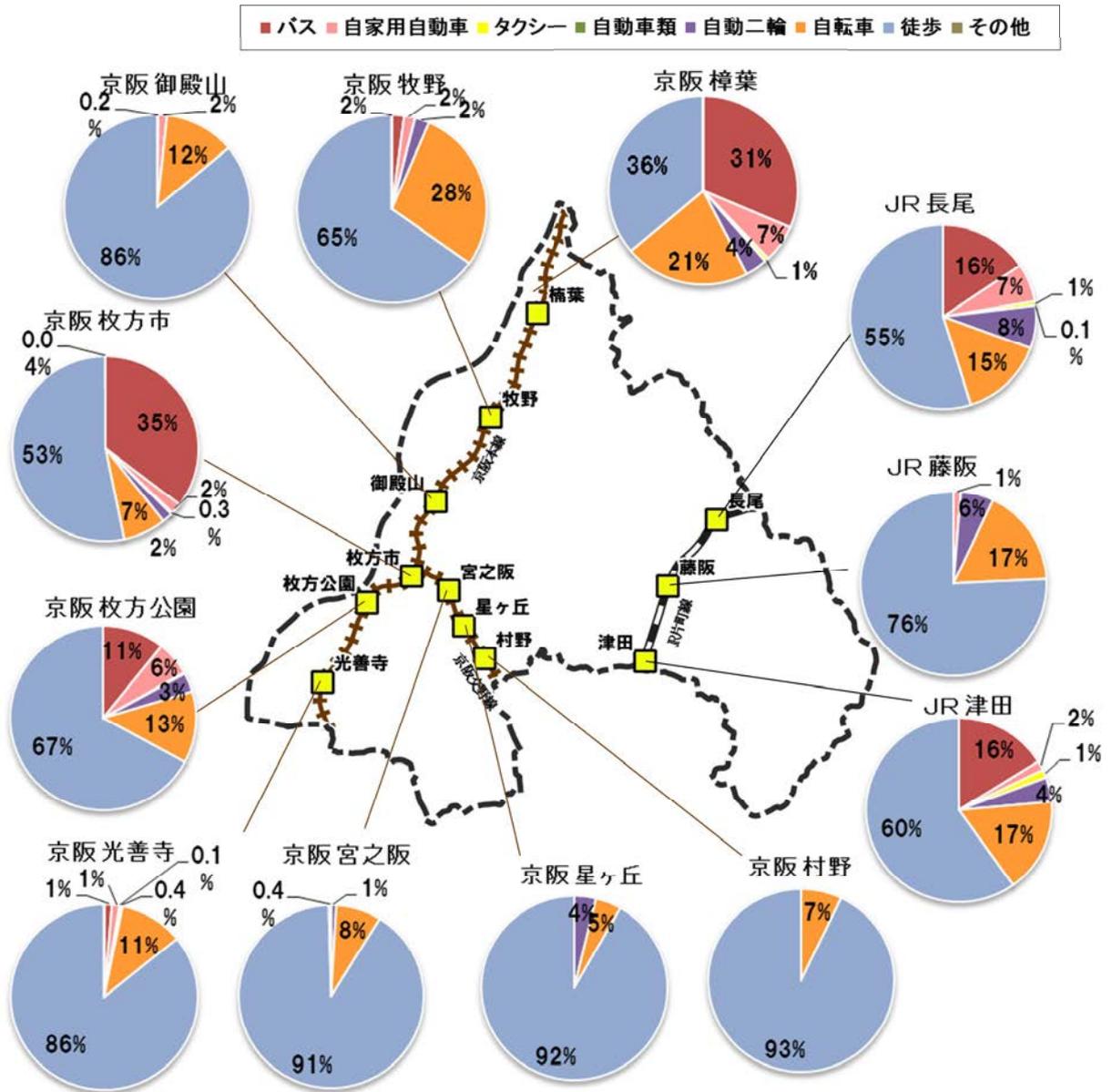


図 3-19 枚方市内及び周辺の駅別端末交通手段分担率の比較(平日)

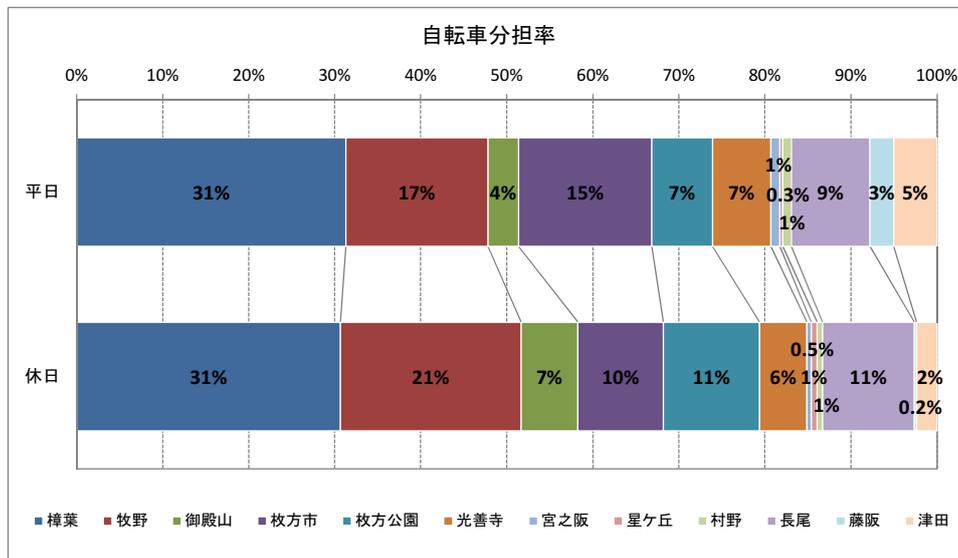


図 3-20 駅端末交通手段における自転車利用トリップ数の占有割合

出典：第 5 回近畿圏パーソントリップ調査(平成 22 年度実施)